

---

## 高齢者を住宅火災から守るために

### ～住宅防火 いのちを守る 7つのポイント～

---

住宅火災による死者数は、高齢化の進展とともに高齢者の占める割合が増加傾向であり、その約6割が65歳以上の高齢者となっています。

そこで、高齢者を中心とした住宅火災による死者数の低減を図るため「住宅防火・防災キャンペーン」を立ち上げて、集中的な広報活動が実施されることになりました。



#### ○「住宅防火・防災キャンペーン」実施内容

- ・高齢者を住宅火災から守るため、9月17日の敬老の日に、住宅用防災機器（火災報知機、消火器等）を高齢者に贈ることを全国に呼びかける。
- ・敬老の日には、天井にあって点検しにくい住宅用火災警報器を高齢の両親のためにお子さんが点検したり、地震に備えて家具の転倒防止器具を設置するなど、高齢の両親を災害から守る取り組みを促していく。
- ・本キャンペーンについて、9月に政府広報としてラジオなどでマスコミ報道を実施
- ・毎年9月15日の「老人の日」から21日まで行われている厚生労働省の「老人の日・老人週間」キャンペーンとタイアップ

また、消防庁から全国老人クラブ連合会に対しては、高齢者が特に留意すべき事項をまとめた「住宅防火 いのちを守る 7つのポイント」の周知依頼がありました。

つきましては、別紙「7つのポイント（3つの習慣・4つの対策）」については、各会員、クラブ等への周知いただくとともに、友愛訪問活動を通じたひとり暮らし高齢者等への周知についてもよろしくお願いいたします。

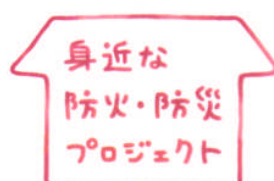
## 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント － 3つの習慣・4つの対策－

### 【3つの習慣】

- **寝たばこ**は、絶対やめましょう。
- **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用しましょう。
- **ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。

### 【4つの対策】

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防炎品**を使用しましょう。
- 火災を小さいうちに消すために**住宅用消火器**を設置しましょう。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくりましょう。



# 消 防 庁